

熊本県立大学 情報処理実習室等建具改修工事

図面番号	図面名称
	【 意匠図 】
A - 0 1	建築改修工事特記仕様書（その1）
A - 0 2	建築改修工事特記仕様書（その2）
A - 0 3	建築改修工事特記仕様書（その3）
A - 0 4	建築改修工事特記仕様書（その4）
A - 0 5	建築改修工事特記仕様書（その5）
A - 0 6	工事概要表・共通事項・付近見取図・配置図
A - 0 7	（大ホール・講義棟2号館・総合管理学部棟）1階全体平面図
A - 0 8	（講義棟2号館）1階平面図（改修前）
A - 0 9	（講義棟2号館）1階平面図（改修後）
A - 1 0	（総合管理学部棟）1階平面図（改修前）
A - 1 1	（総合管理学部棟）1階平面図（改修後）
A - 1 2	建具表
A - 1 3	展開図
A - 1 4	建具詳細図1（参考図）
A - 1 5	建具詳細図2（参考図）

Table with 2 columns: Item No. and Specification. Item 1: 降雨等に対する養生方法(とい共). Item 2: 既存防水の処理. Item 3: 既存下地の処理. Item 4: アスファルト防水. Item 5: 改質アスファルトルーフィング防水. Item 6: 合成高分子系ルーフィングシート防水. Item 7: 塗膜防水. Item 8: 脱気装置. Item 9: ルーフドレン. Item 10: 改修用ドレン. Item 11: シーリング. Item 12: とい.

Table with 2 columns: Item No. and Specification. Item 13: アルミニウム製笠木. Item 14: 保証書の提出. Item 15: 事後調査. Item 1: ひび割れ部改修工法. Item 2: 欠損部改修工法. Item 3: 浮き部改修工法. Item 4: モルタル塗替え. Item 5: タイル張り.

Table with 2 columns: Item No. and Specification. Item 6: 下地処理. Item 7: 仕上塗材仕上げ. Item 1: 改修工法. Item 2: 防火戸. Item 3: アルミニウム製建具. Item 4: 樹脂製建具. Item 5: 網戸等. Item 6: 網製建具. Item 7: 網製軽量建具. Item 8: ステンレス建具.

Table with 2 columns: Item No. and Specification. Item 9: 木製建具. Item 10: 建具用金物. Item 11: 自動ドア開閉装置. Item 12: 自閉式上り戸閉装置. Item 13: 重量シャッター. Item 14: 軽量シャッター. Item 15: オーバーヘッドドア. Item 16: ガラス.

8の6 耐震改修工事 鉄骨工事	1 (鉄骨工事一般事項) 鉄骨製作工場 (7.1.3)[8.1.5]	<ul style="list-style-type: none"> 監理者の承諾する工場 建築基準法77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(※)日本鉄骨協会センター又は(※)全国鉄骨協会からの認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 H M R J グレード 下記の条件を満たしている工場 <ul style="list-style-type: none"> イ) WE8103 1級()名以上 2級()名以上 ロ) NDIUT 1級()名以上 2級()名以上 ハ) 溶接設備保有 1級()名以上 2級()名以上 ニ) 鉄骨製作管理技術者 1級()名以上 2級()名以上 ホ) 半自動溶接技術者 1級()名以上 2級()名以上 ヘ) 溶接技術者 1級()名以上 2級()名以上 ヘ) 溶接技術者 1級()名以上 2級()名以上 ヘ) 溶接技術者 1級()名以上 2級()名以上
	2 施工管理技術者 (7.1.4)[8.1.6]	鉄骨製作管理技術者の適用
	3 (鉄骨材料) 鋼材 (7.2.1)[8.2.7]	材質 (表8.2.7) による (7.2.1)[8.2.7]
	4 高力ボルト (8.2.9)	高力ボルトの適用
	5 (鉄骨工作) 仮組 (7.3.10)[8.13.10]	仮組の実施
	6 技能資格者 (7.6.3)[8.15.3]	溶接作業における技能資格者の技能付加試験
	7 (溶接接合) 溶接条件 (7.6.10)[8.15.10]	入熱、バス間温度の溶接条件
	8 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験
	9 (耐火被覆) 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2-8)	耐火被覆の種類及び性能
	10 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	溶融亜鉛めっき高力ボルト接合

8の8 耐震改修工事 連続繊維補強工事	3 連続繊維シートの施工準備 (8.24.6)	仕上げモルタルの除去
	4 炭素繊維シート等の施工 (8.24.6)	炭素繊維の目付
8の9 耐震改修工事 スリット新設工事	1 (耐震スリット新設) スリットの補強 (8.25.1)[8.25.2]	耐震スリットの補強及び形状
	2 スリットの施工 (8.25.2)	スリット部の配管等の調査
8の10 耐震改修工事 土工事及び地盤工事	1 基礎工事に用いる材料 (8.2.15)	砂利地盤に使用する砂利
	2 土工事 (8.2.3)[8.28.1]	埋戻し及び土留の材料並びに工法
	3 地盤工事 (8.28.4)	地盤の調査

9 環境配慮 (グリーン)改修工事	1 石綿含有建材の処理 (9.1.1)	とりこ工事
	2 断熱材 (9.3.2)[9.5.2]	外断熱及び断熱材打込み工法
	3 屋上緑化 (9.6.2)	屋上緑化システム
	4 雨水利用 (9.6.3)	雨水貯留システム
	5 省エネルギー (9.6.4)	省エネルギー対策
	6 緑化 (9.6.5)	緑化の促進
	7 廃棄物の減量 (9.6.6)	廃棄物の減量
	8 環境影響評価 (9.6.7)	環境影響評価
	9 環境配慮計画 (9.6.8)	環境配慮計画
	10 環境配慮教育 (9.6.9)	環境配慮教育

9 環境配慮 (グリーン)改修工事	4 透水性アスファルト舗装 (9.7.2)	既存舗装の撤去及び再利用
	5 緑化 (9.7.3)	緑化の促進
	6 省エネルギー (9.7.4)	省エネルギー対策
	7 雨水利用 (9.7.5)	雨水貯留システム
	8 環境影響評価 (9.7.6)	環境影響評価
	9 環境配慮計画 (9.7.7)	環境配慮計画
	10 環境配慮教育 (9.7.8)	環境配慮教育
	11 環境配慮材料 (9.7.9)	環境配慮材料
	12 環境配慮設備 (9.7.10)	環境配慮設備
	13 環境配慮施工 (9.7.11)	環境配慮施工

熊本県建築改修工事特記仕様書

公立大学法人 熊本県立大学

建築士事務所名 一級建築士事務所 熊本県知事登録第 555 号 株式会社 太宏設計事務所

設計者氏名 一級建築士 大臣登録第 366297 号 平田 有希雄

工事名称 熊本県立大学情報処理実習室等建具改修工事

図面名称 熊本県建築改修工事特記仕様書(その5) 図面番号 A-05

工事概要表

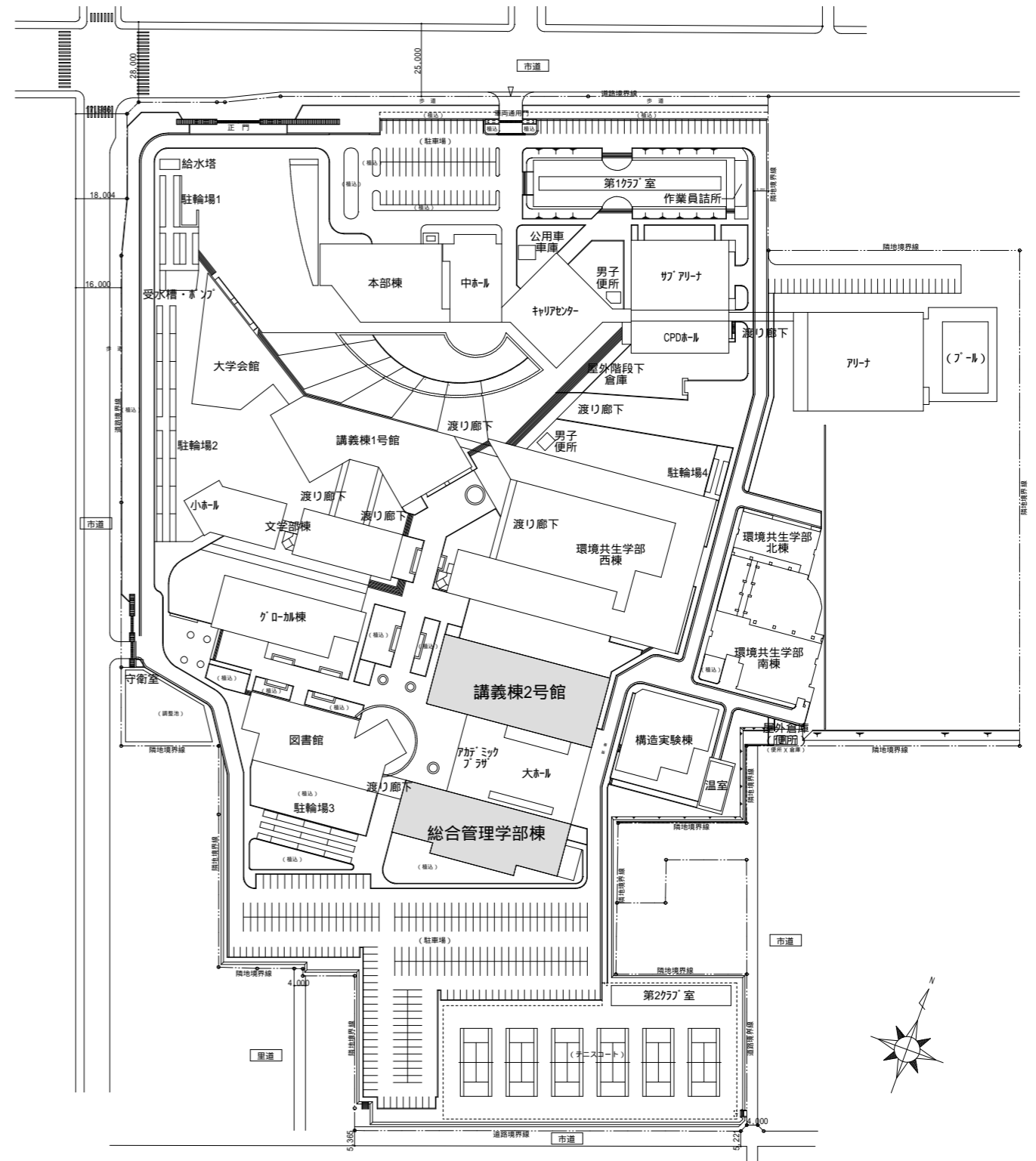
工事名称	熊本県立大学情報処理実習室等建具改修工事		
工事場所	熊本県熊本市東区月出三丁目1番100号（キャンパス）		
延床面積	講義棟2号館：2,670.85㎡	鉄筋コンクリート造	3階建
構造階数	総合管理学部棟：5,560.56㎡	鉄筋コンクリート造	5階建
工事概要	講義棟2号館：建具改修工事		
	総合管理学部棟：建具改修工事		

共通事項

1	工事着手に先立ち現地確認を実施し、学校関係者にヒアリングを行った上で総合施工計画書を作成すること
2	総合施工計画書には工事使用範囲、及び作業動線、学校使用者の動線を記入した図面を添付すること
3	工事関係者と学校使用者の動線が重複する箇所の安全配慮を十分に行うこと
4	工事関係者は、所属を明らかにする腕章等を身に付け、本工事関係者である旨を明らかにすること
5	学校行事のヒアリングを行い、工事工程の管理を十分に行うこと
6	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監理者の承認を受けること
7	本工事に使用する材料は、原則として全てFの規格に適合するものとする
8	工事範囲以外の建物の部分、又は既存工作物を破損した場合は現況復旧とする
9	仕上げ材料の選定にあつては施工前に監理者及び発注者と十分協議の上決定すること
10	工事中に汚染や損傷の恐れのある材料及び箇所は、適切な方法で養生すること
11	工事写真は、図面に記載している改修番号毎に着手前、施工中、施工後の記録を残すこと
12	完成写真は、改修部分が改修前と対比できる様に整理すること
13	工事写真及び完成写真は監理者の承認を受けた撮影者により撮影し、ファイル綴じの上、発注者に2部提出すること
14	工事関係書類は電子化を行い、指定した記録メディアで提出をすること。電子化を行う書類は監理者の指示による

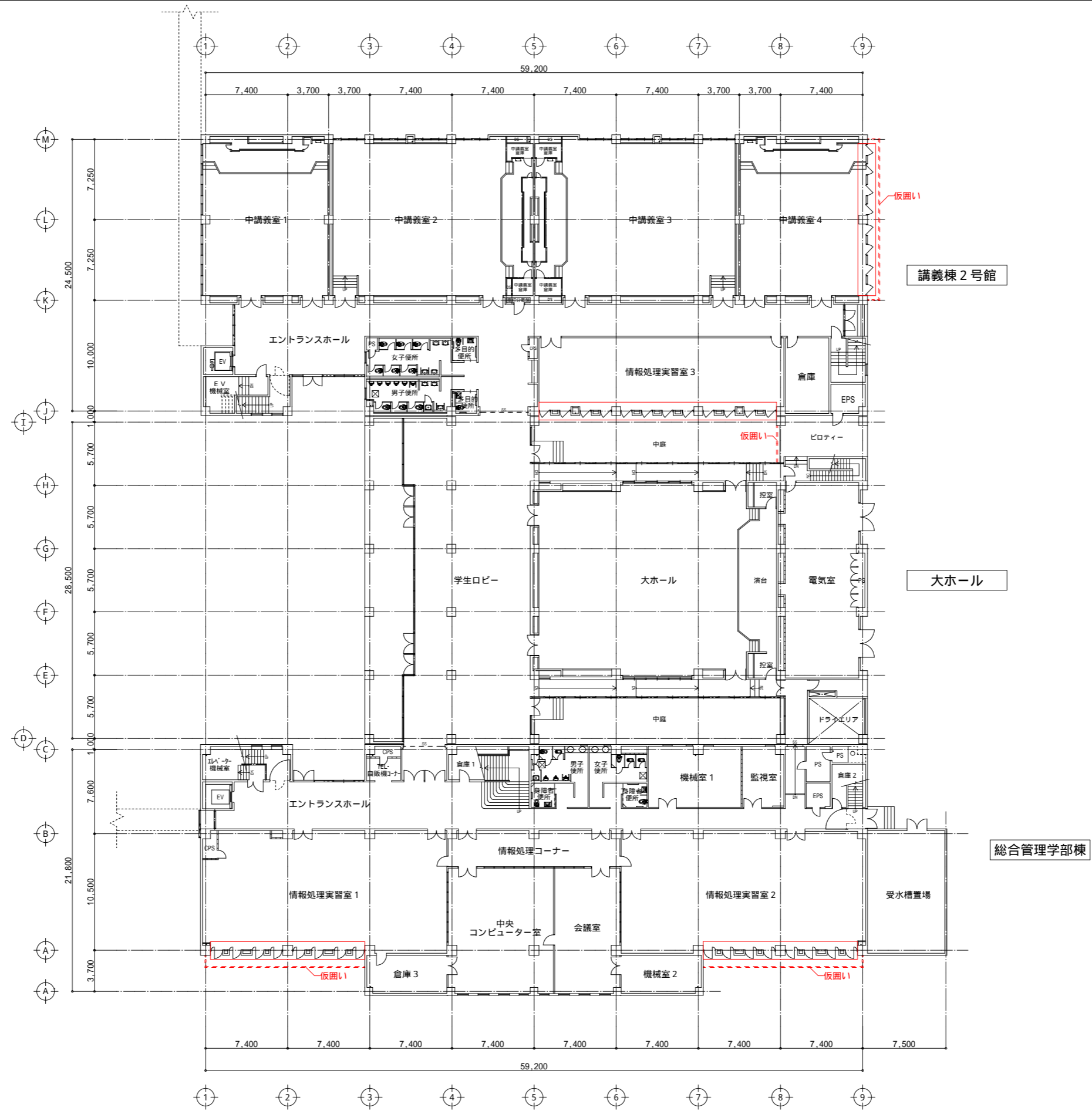


付近見取図



配置図

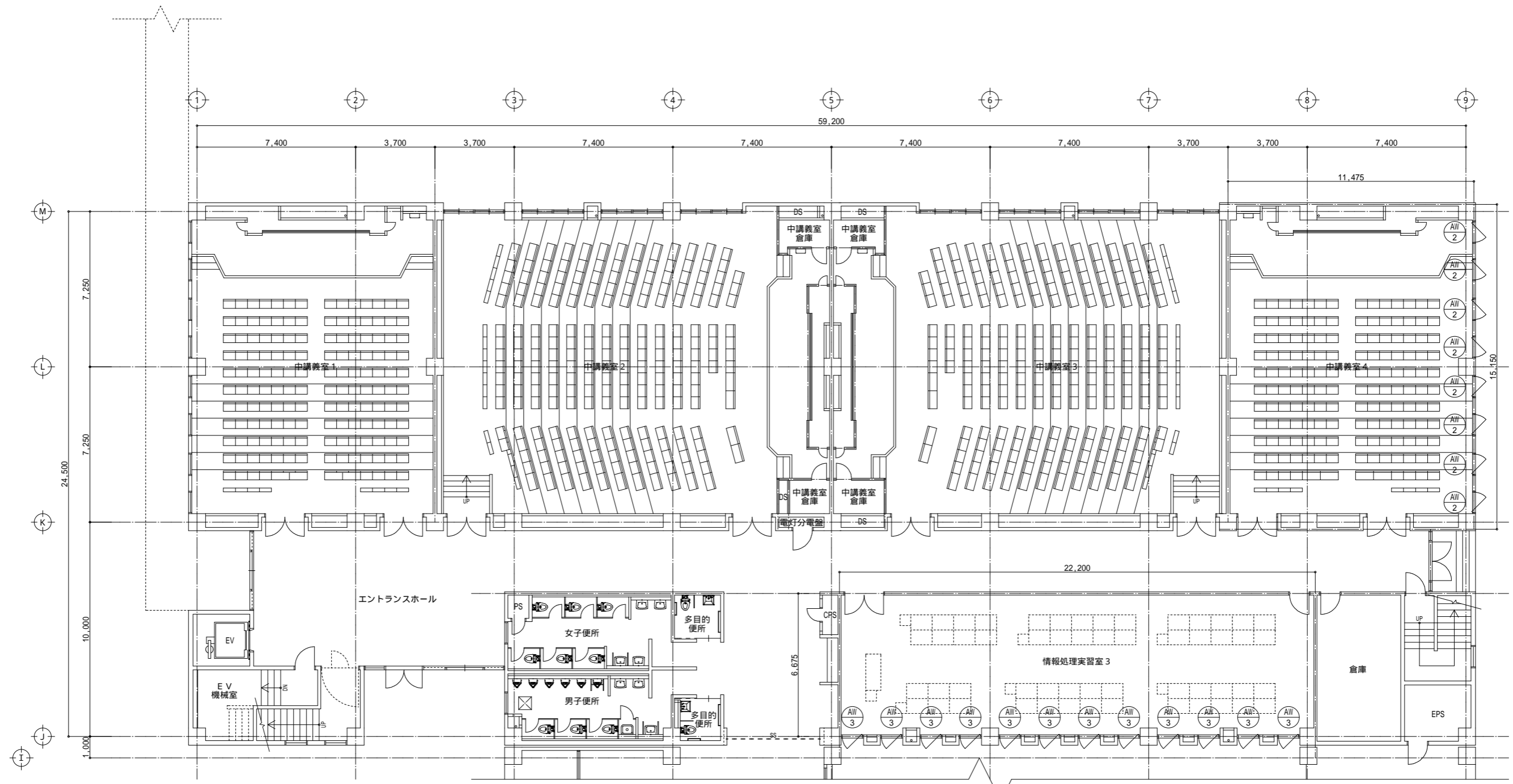
凡例
 改修対象建物を示す。



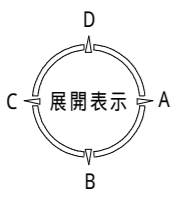
1階平面図

は、建具改修範囲を示す
 は、仮囲い範囲 (H=2,000程度) を示す

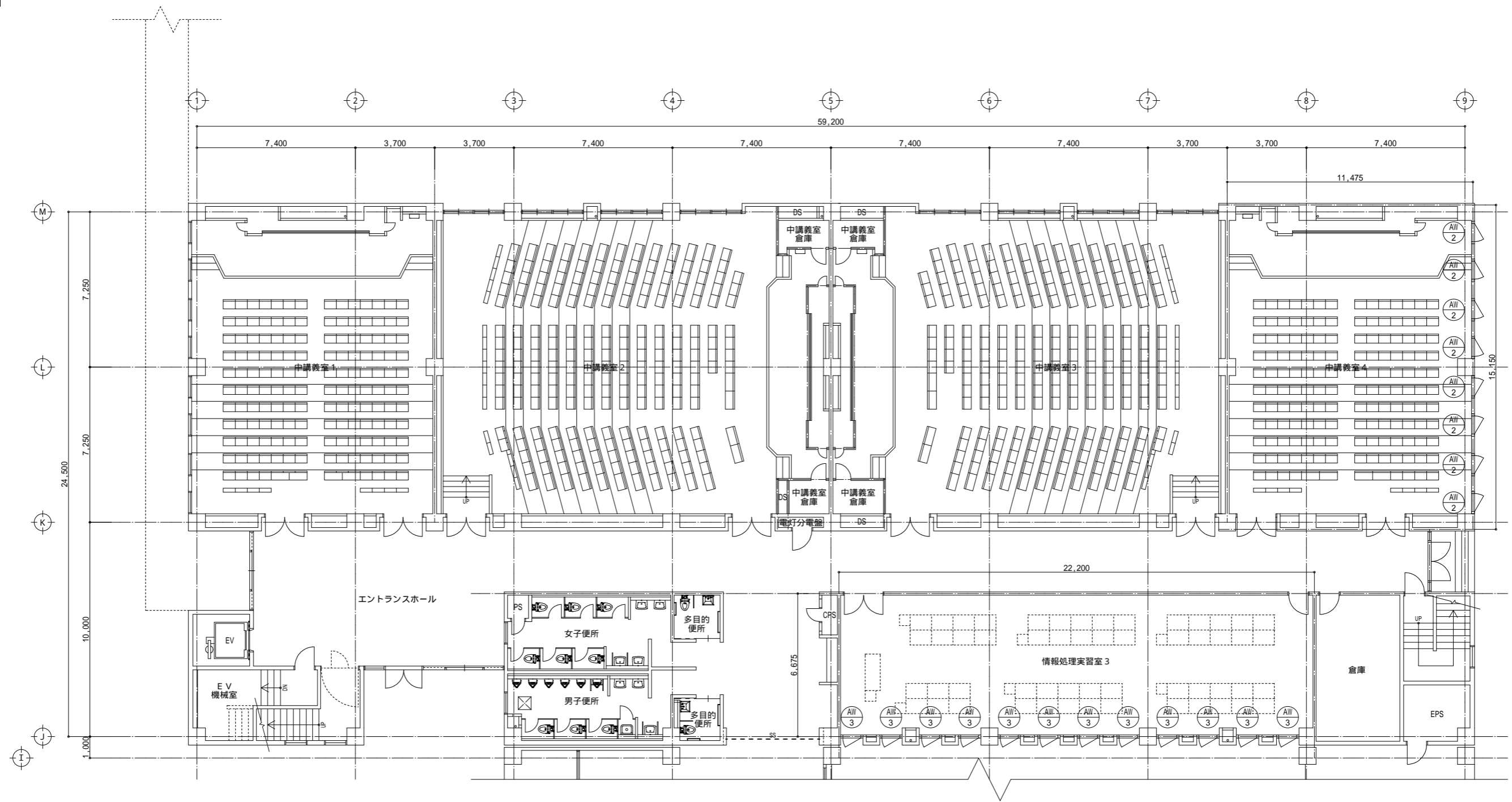
改修前



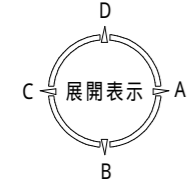
(講義棟2号館) 1階平面図



改修後

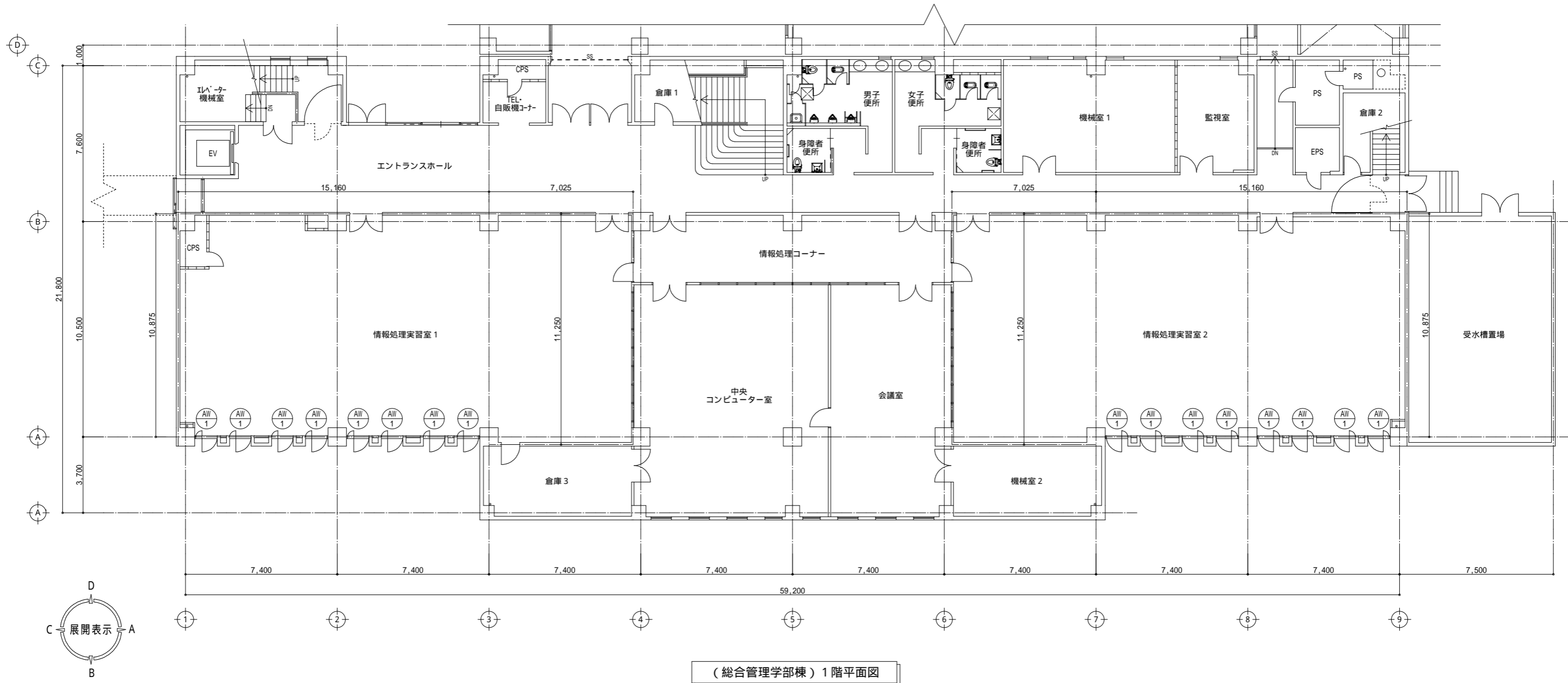


(講義棟2号館) 1階平面図

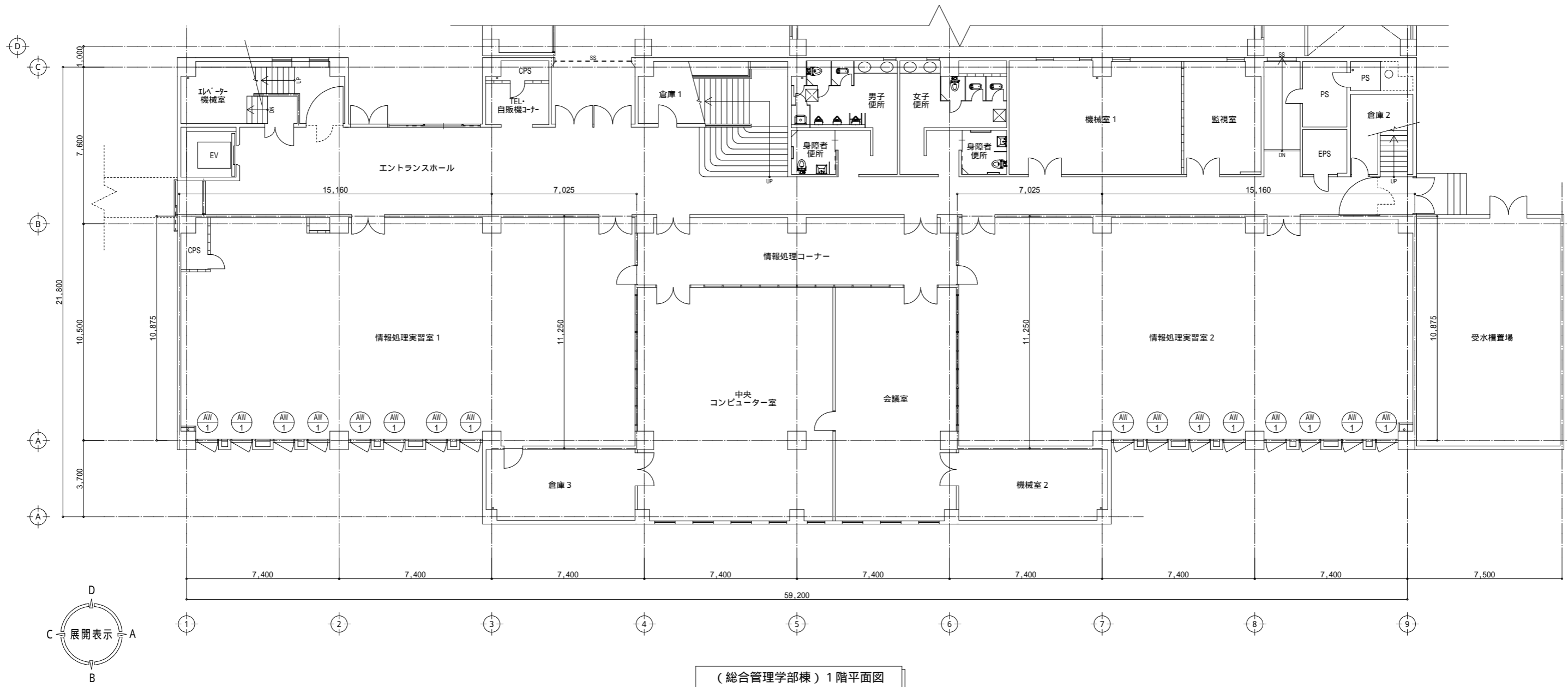


区分 室名	面積表	排煙計算		採光計算		換気計算	
		必要開口面積 1/50	有効開口面積 (判定) W x H, w x h	必要開口面積 1/10	有効開口面積 (判定) W x H	必要開口面積 1/20	有効開口面積 (判定) W x H
中講義室 4	11.475 x 15.150 = 173.847	3.477		17.385	AW-2 (0.950 x 0.860) x 8 = 6.536 (通り出し窓) (0.850 x 1.717) x 8 = 11.675 (縦入り出し窓) 6.536 + 11.675 = 18.211 18.211 > 17.385 OK	8.693	AW-2 (0.950 x 0.860) x 8 = 6.536 (通り出し窓) (0.850 x 1.717) x 8 = 11.675 (縦入り出し窓) 6.536 + 11.675 = 18.211 18.211 > 8.693 OK
情報処理実習室 3	22.200 x 6.675 = 148.185	2.964		14.819	AW-3 (0.950 x 0.860) x 12 = 9.804 (通り出し窓) (0.850 x 1.717) x 12 = 17.513 (縦入り出し窓) 9.804 + 17.513 = 27.317 採光補正係数 A = (4.175 / 12.445) x 6 - 1.4 = 0.612 27.317 x 0.612 = 16.718 16.718 > 14.819 OK	7.410	AW-3 (0.950 x 0.860) x 12 = 9.804 (通り出し窓) (0.850 x 1.717) x 12 = 17.513 (縦入り出し窓) 9.804 + 17.513 = 27.317 27.317 > 7.410 OK

改修前



改修後



(総合管理学部棟) 1階平面図

区分 室名	面積表	排煙計算		採光計算		換気計算	
		必要開口面積	有効開口面積 (判定)	必要開口面積	有効開口面積 (判定)	必要開口面積	有効開口面積 (判定)
		1/50	W × H、w × h	1/10	W × H	1/20	W × H
情報処理実習室 1	(15.160 × 10.875) + (7.025 × 11.250) = 243.897	4.878	X	24.390	AW-1 (1.050 × 0.660) × 8 = 5.544 (突出し窓)	12.195	AW-1 (1.050 × 0.660) × 8 = 5.544 (突出し窓)
					(0.950 × 1.300) × 8 = 9.880 (縦入り出し窓)		(0.950 × 1.300) × 8 = 9.880 (縦入り出し窓)
					(0.950 × 0.667) × 8 = 5.069 (F I X窓)		5.544 + 9.880 = 15.424
					5.544 + 9.880 + 5.069 = 20.493	15.424 > 12.195 OK	
					採光補正係数 3.0		
					20.493 × 3.0 = 61.479	61.479 > 24.390 OK	
情報処理実習室 2	(15.160 × 10.875) + (7.025 × 11.250) = 243.897	4.878	X	24.390	AW-1 (1.050 × 0.660) × 8 = 5.544 (突出し窓)	12.195	AW-1 (1.050 × 0.660) × 8 = 5.544 (突出し窓)
					(0.950 × 1.300) × 8 = 9.880 (縦入り出し窓)		(0.950 × 1.300) × 8 = 9.880 (縦入り出し窓)
					(0.950 × 0.667) × 8 = 5.069 (F I X窓)		5.544 + 9.880 = 15.424
					5.544 + 9.880 + 5.069 = 20.493	15.424 > 12.195 OK	
					採光補正係数 3.0		
					20.493 × 3.0 = 61.479	61.479 > 24.390 OK	

改修前

形式	上部突出窓付縦軸回転窓	はり出しランマ付縦軸回転窓	はり出しランマ付縦軸回転窓
室名	総合管理学部棟 情報処理実習室1・2	講義棟2号館 中講義室4	講義棟2号館 情報処理実習室3
窓図			
数量	16	8	12
仕上げ	電解着色二次仕上	アルミ(カラー)	アルミ(カラー)
ガラス	t=5.0 フロート透明(上部突出窓)、t=8.0 フロート透明	t=6.0 フロート透明	t=6.0 フロート透明
見込	70	70	70
金物	オペレーター、他金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	-	-	-

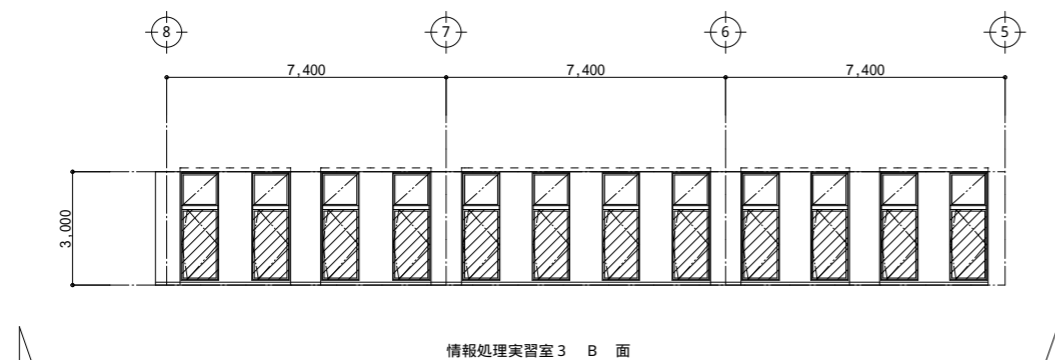
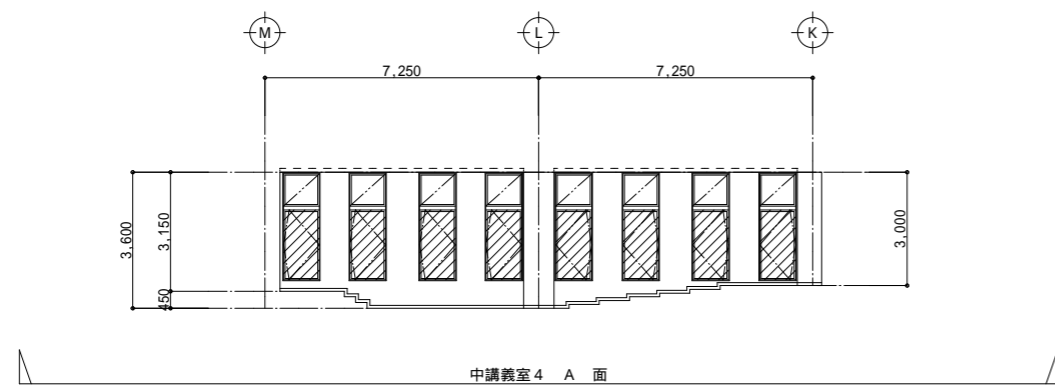
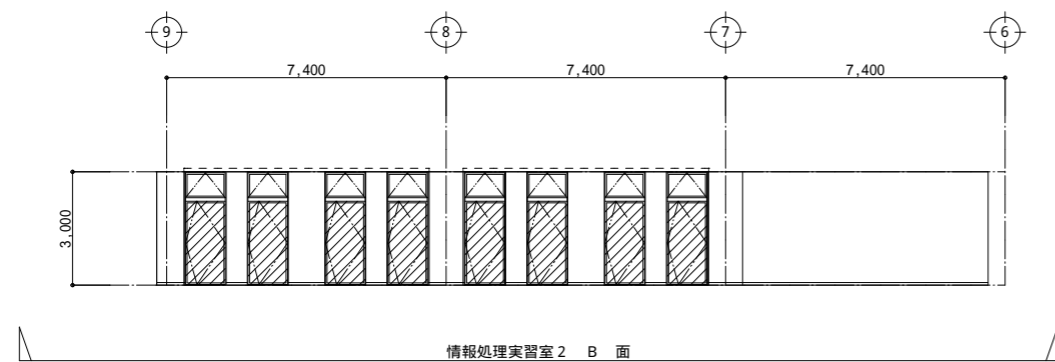
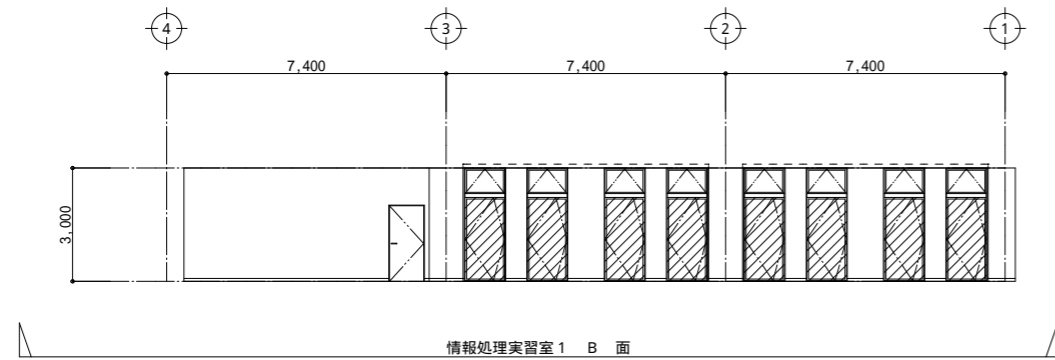
撤去部分を示す

改修後

形式	上部突出窓(既存) FIX窓付縦はり出し窓(カバー工法)	はり出しランマ(既存) 縦はり出し窓(カバー工法)	はり出しランマ(既存) 縦はり出し窓(カバー工法)
室名	総合管理学部棟 情報処理実習室1・2	講義棟2号館 中講義室4	講義棟2号館 情報処理実習室3
窓図			
数量	16	8	12
仕上げ	アルミ(カラー)	アルミ(カラー)	アルミ(カラー)
ガラス	t=4.0 強化	t=4.0 強化	t=4.0 強化
見込	70	70	70
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	内開き網戸(室内側)	内開き網戸(室内側)	内開き網戸(室内側)

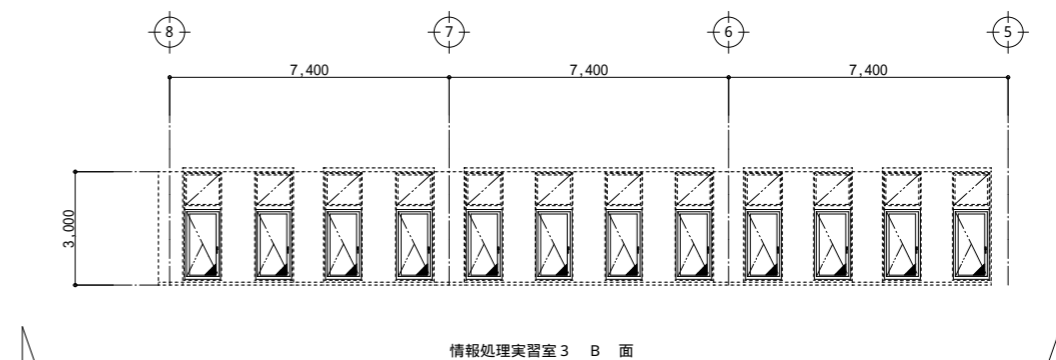
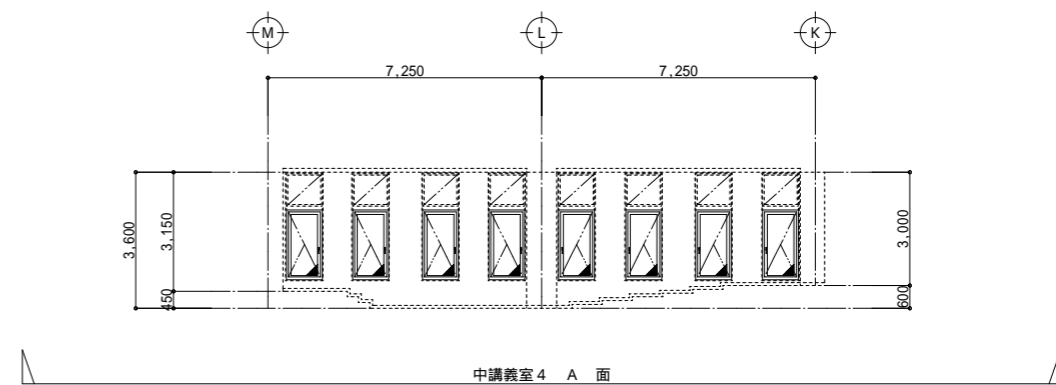
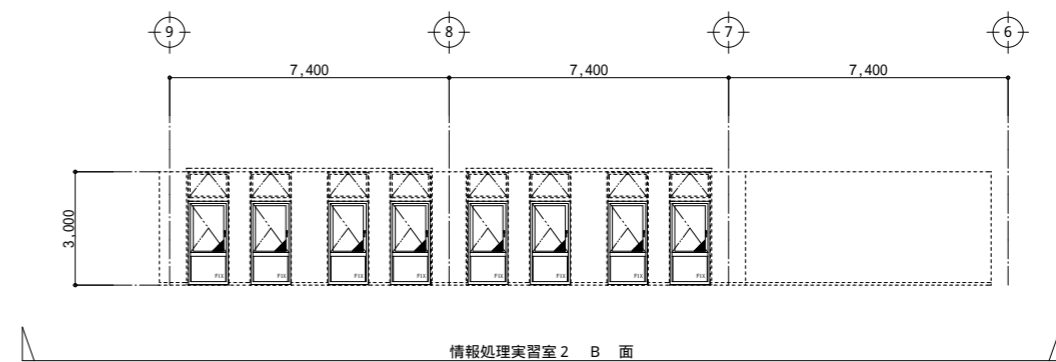
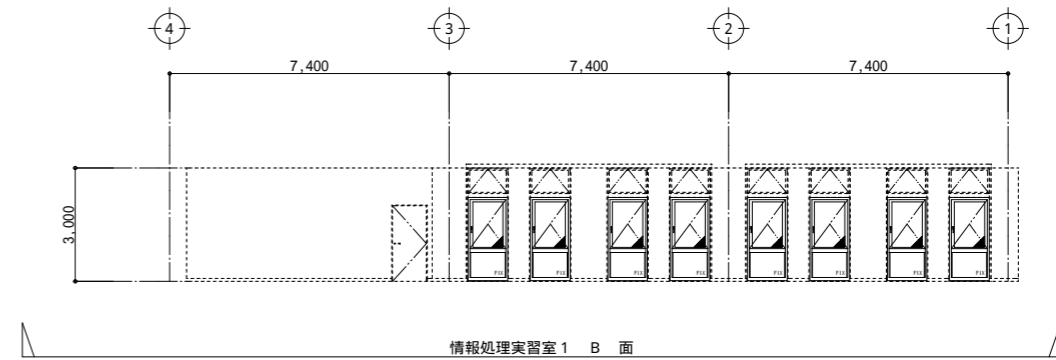
既存部分を示す
 新設部分を示す

改修前

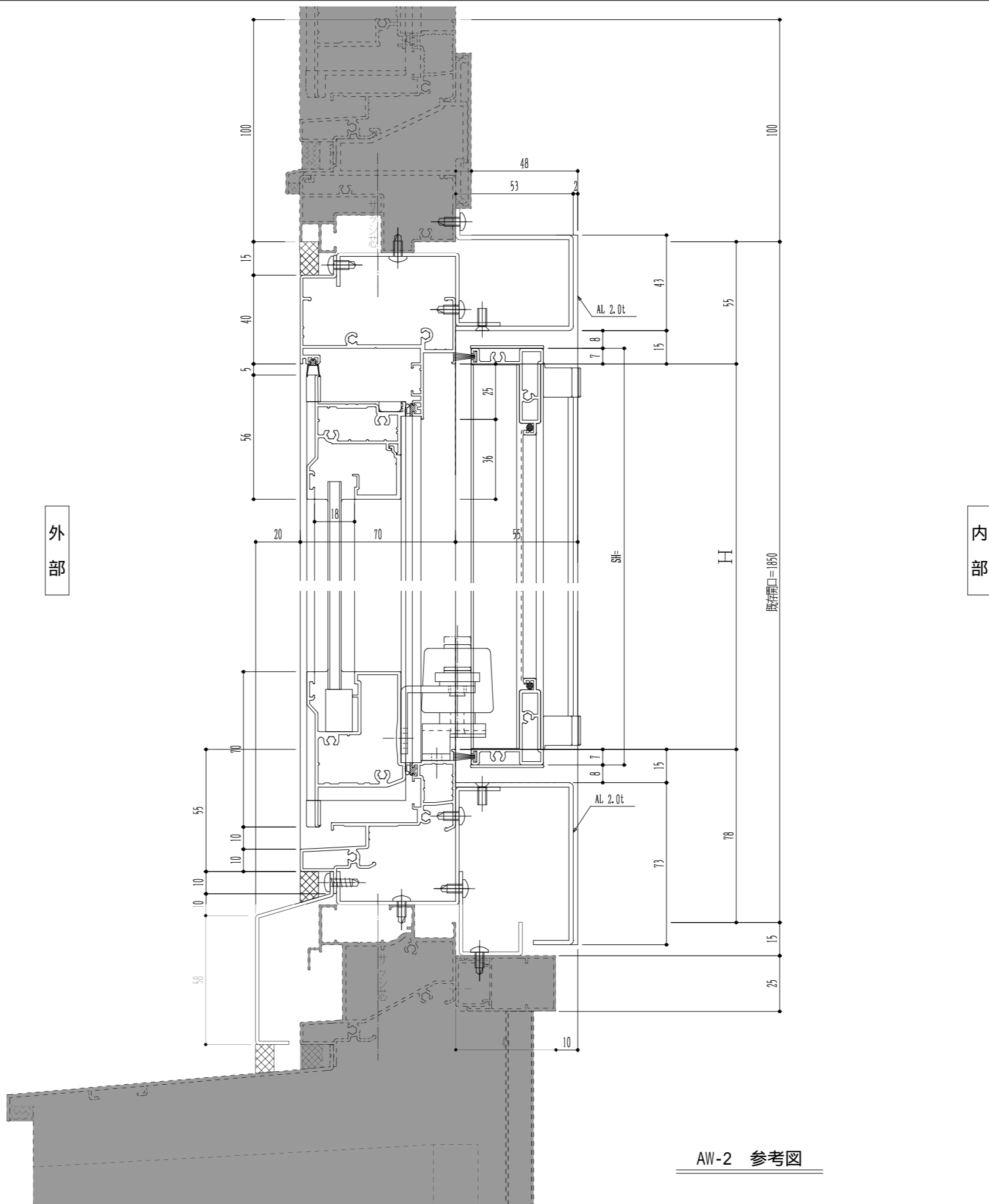


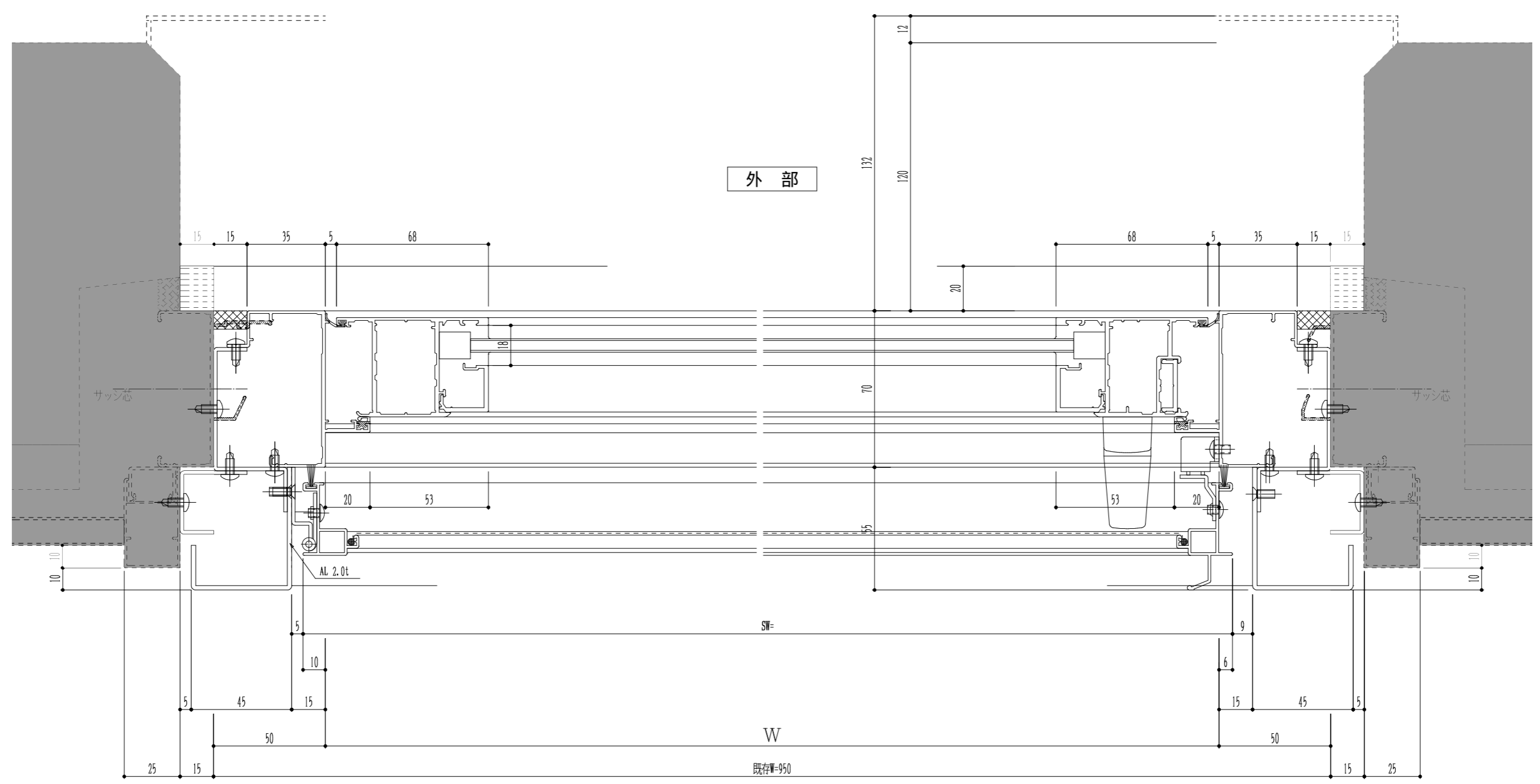
撤去部分を示す

改修後



既存部分を示す
 新設部分を示す





外部

内部

AW-2 参考図